

2011年度決算について

2011年度決算は、学園監事による監査を受けた後、5月24日開催の理事会において承認されましたので、その概要についてお知らせします。

2011年度決算の概要

はじめに
 経済状況の悪化や少子化による18歳人口の減少等により、学校法人の経営は一層厳しさを増しています。そうした状況下においても本学園の社会的使命である教育研究活動を発展させていくため、授業料収入などの有限の財源のほかに補助金や受託研究等外部からの資金導入を積極的に図り効率的・効果的に教育研究活動を展開してきました。今後も努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【計算書の解説】

資金収支計算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究活動等諸活動に対する資金の収支を明らかにするものです。

消費収支計算書は、当該年度の学生納付金等の「帰属収入」から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と人件費・教育研究費等の「消費支出」との均衡状態、内容により経営状況を把握するものです。消費収支計算書は、資金収支計算書の収入から学校法人の帰属収入とならない借入金等収入および資金の動きだけを示す前受金、その他の収入等は除かれます。また、支出から借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出等が除かれます。一方、消費支出として退職給与引当金繰入額および減価償却額が計上され、寄付金収入には現物寄付金が計上されます。

消費収支計算書の基本金組入額は、教育研究のために取得した資産(校舎・校地・機器備品・図書等)の額、将来取得する資産に充てる額、基金として継続的に保持する資産の額、運営に必要な運転資金の額が対象です。

貸借対照表は、学校法人の会計年度末の財政状態をあらわした計算書類で、負債・基本金および消費収支差額の状況を前年度末の額と比較して示します。

【資金収支計算書】

収入に関しては、手数料収入が予算比621万円増、補助金収入が予算比1,562万円増、寄付金収入が予算比1,694万円増、雑収入が予算比3,135万円増となりました。学生生徒納付金収入が予算比3,702万円減、事業収入が予算比1億3,277万円減となりました。収入の計は予算比2億6,637万円減の89億4,580万円となりました。

また、支出に関しては、人件費支出が予算比4億4,550万円減、教育研究経費支出が予算比1億7,426万円減、管理経費支出が予算比3,689万円増となりました。施設設備関係支出については、薬学部薬学教育支援室の設置工事等を行いました。支出の計は予算比5億9,750万円減の80億4,843万円となり、次年度繰越支払資金は予算比3億3,113万円増の74億7,387万円となりました。

【消費収支計算書】

帰属収入は予算比1億101万円減の89億8,152万円となり、基本金組入額は予算比9,057万円減の1億8,539万円となりました。その結果、消費収入は予算比1,043万円減の87億9,613万円です。

資金収支計算書

【収入の部】				【支出の部】			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	6,138,405	6,101,388	37,017	人件費支出	5,416,990	4,971,495	445,495
手数料収入	80,636	86,845	△ 6,209	教育研究経費支出	2,270,433	2,096,168	174,265
寄付金収入	28,000	44,943	△ 16,943	管理経費支出	451,371	488,266	△ 36,895
補助金収入	976,092	991,708	△ 15,616	施設関係支出	166,686	79,765	86,921
資産運用収入	76,001	76,069	△ 68	設備関係支出	273,548	207,421	66,127
事業収入	1,498,944	1,366,179	132,765	その他の支出	702,687	707,254	△ 4,567
雑収入	259,452	290,806	△ 31,354	予備費	(49,303)		
前受金収入	775,617	671,216	104,401		697		697
その他の収入	581,359	561,990	19,369	資金支出調整勘定	△ 636,489	△ 501,942	△ 134,547
資金収入調整勘定	△ 1,202,331	△ 1,245,339	43,008	当年度資金支出合計(B)	8,645,923	8,048,427	597,496
当年度資金収入合計(A)	9,212,175	8,945,805	266,370	次年度繰越支払資金	7,076,256	7,407,382	△ 331,126
前年度繰越支払資金	6,510,004	6,510,004	0	支出の部合計	15,722,179	15,455,809	266,370
収入の部合計	15,722,179	15,455,809	266,370				

※四捨五入の関係で、合計など数値が計算上一致しない場合があります。
 なお、以下の表についても同様です。

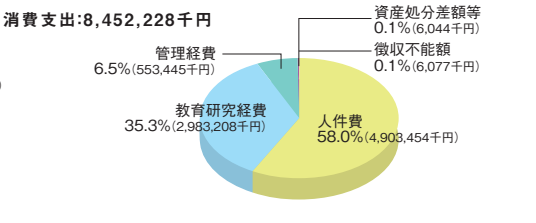
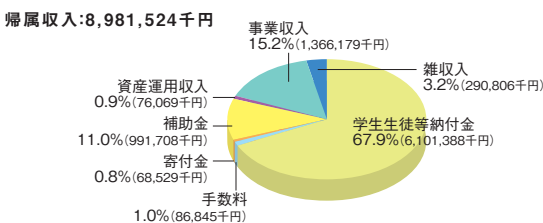
当年度資金収支差額(A)-(B)	566,252	897,377	△ 331,125
------------------	---------	---------	-----------

消費収支計算書

【収入の部】				【支出の部】			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	6,138,405	6,101,388	37,017	人件費	5,407,021	4,903,454	503,567
手数料	80,636	86,845	△ 6,209	教育研究経費	3,177,222	2,983,208	194,014
寄付金	53,000	68,529	△ 15,529	管理経費	520,470	553,445	△ 32,975
補助金	976,092	991,708	△ 15,616	資産処分差額	20,000	6,044	13,956
資産運用収入	76,001	76,069	△ 68	徴収不能額	0	6,077	△ 6,077
事業収入	1,498,944	1,366,179	132,765	予備費	(10,034)		39,966
雑収入	259,452	290,806	△ 31,354		39,966		
帰属収入合計(A)	9,082,530	8,981,524	101,006	消費支出の部合計(B)	9,164,679	8,452,228	712,451
基本金組入額合計	△ 275,965	△ 185,391	△ 90,574	当年度消費収入超過額		343,905	
消費収入の部合計	8,806,565	8,796,132	10,433	当年度消費支出超過額	△ 958,114		
				前年度繰越消費支出超過額	△ 10,382,031	△ 10,382,031	
				翌年度繰越消費支出超過額	△ 10,740,145	△ 10,038,126	

帰属収支差額(A)-(B)	△ 82,149	529,296	△ 611,445
---------------	----------	---------	-----------

■2011年度消費収支の構成比率



貸借対照表

【資産の部】				【負債・基本金・消費収支差額の部】			
科目	2011年度末	2010年度末	増減	科目	2011年度末	2010年度末	増減
固定資産	24,486,776	25,092,324	△ 605,548	固定負債	1,831,300	1,904,016	△ 72,716
有形固定資産	16,870,078	17,505,242	△ 635,164	流動負債	1,221,424	1,468,823	△ 247,399
その他の固定資産	7,616,698	7,587,081	29,617	負債の部合計(B)	3,052,724	3,372,839	△ 320,115
流動資産	7,933,196	7,118,467	814,729	基本金	39,405,374	39,219,983	185,391
資産の部合計(A)	32,419,972	32,210,791	209,181	繰越消費支出超過額	10,038,126	10,382,031	△ 343,905
				合計	32,419,972	32,210,791	209,181

正味資産(A)-(B)	29,367,248	28,837,952	529,296
-------------	------------	------------	---------

■主な事業の実績

2011年度事業計画に基づく、主な事業と進捗状況は、以下のとおりです。

■教育活動及び学生支援活動

- 1. 大学院薬学専攻科薬学専攻博士課程(新課程)の設置**
 2011年度に、6年制の薬学部が完成年次を迎え、従来の大学院博士後期課程を改編し、6年制薬学部を基礎とする新たな博士課程(4年課程:入学定員3名)を、2012年4月1日を以て設置しました。
- 2. 専門看護師(CNS)の養成**
 専門看護師は、特定の分野で実践者をサポートできる研究・指導力と、卓越した実践力を備えた看護師と定義づけられており、日本看護協会が資格認定を行っているものです。
 本学では、大学院看護福祉学専攻科で、母性看護、老年看護、精神看護、慢性看護、がん看護及び感染看護の6分野を開講しており、その養成に努めました。
- 3. 文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援の充実等プログラム」採択事業の推進**
 - ①がんプロフェッショナル養成プラン
 2007年度採択の「北海道の総合力を生かしたプロ養成プログラム～大学・地域・病院の連携を生かしたがん専門医療人の育成～」について、年次計画に基づき実施し、2011年度をもって終了しました。
 - ②大学教育・学生支援推進事業(学生支援推進プログラム)
 2009年度採択の「学生キャンパス副学長」との協働によるキャリア・就職支援について、年次計画に基づき実施し、2011年度をもって終了しました。
 4. 就職・キャリア支援
 ①学内合同就職相談会の開催
 2011年度又は2012年度の新規卒業生の採用を予定している病院、一般企業、社会福祉施設、行政機関など、63団体の参加を得て開催しました。
 ②薬学セミナー(学内合同就職相談会)
 薬学6年制移行後、初の卒業生となる6年生を主な対象に103団体の参加、また薬学部学生を対象に144団体の薬科部門責任者・人事担当者の参加を得て開催しました。
 5. 「夢つなぎ入試」の実施
 経済的理由により進学が困難な状況にある受験生を対象とした「夢つなぎ入試」を前年度に引き続き実施しました。(各学部・学科・学校総募集定員の5～10%程度)
 6. 本学卒業生子女入学の奨励
 本学薬学部卒業生の子が薬学部に入學したとき、教育充実費を2,000千円減免する制度を前年度に引き続き実施しました。また本学卒

- 業生の子及び複数の兄弟姉妹が入学した場合、入学金の返還を以て奨励金を支給する「複数入学者奨励金」制度を引き続き実施しました。
- 7. 歯学部特待奨学生」制度の実施**
 本学歯学部成績優秀で入学した者に対し、国立大学と同等の授業料とする特別奨学制度を実施しました。(募集定員10名)
- 8. 初年度学生納付金額等の見直し**
 初年度学生納付金額の引き下げにより、入学者の経済的負担の軽減を図りました。また歯学部教育充実費の見直し(1,000千円の減額)を実施しました。
- 9. 「歯科衛生士専門学校早期入学奨学生」制度の実施**
 本学歯科衛生士専門学校に成績優秀で入学し、一定の要件を満たして入学した者に対し、入学金の半額を減免する制度を2012年度入学生より実施しました。
- 10. その他の経済的支援の実施**
 東日本大震災により被災した在学生に対し、入学金の全額免除、授業料の全額あるいは半額を減免する制度を導入し、実施しました。また学納金の納入期日の延長、災害事故等奨学生制度の弾力的な運用をするなど学生の経済的支援に努めました。